

未来に向かって
かがやく子

くすのき

平成 27 年 6 月 16 日

やさしい子
たくましい子
すすんで学ぶ子



梅雨の季節となり、雨に濡れた紫陽花の色が目にも鮮やかに映ります。

さて、運動会では、早朝よりお越しいただき温かい声援をありがとうございました。子ども達は、仲間と懸命に練習に取り組んだ成果を十分に発揮しました。運動会後の児童の感想にもやりきった満足感があふれていました。地域の方など大勢の方からも「感動して涙が出た」「すばらしかった」「上級生が下級生に思いやりをもって接している姿にあたたかさを感じた」「成長を感じることができた」等子どもも教職員も元気が出る感想をたくさんいただきました。これからも総小っ子の健やかな成長を目指して教職員一同、教育活動に取り組んで参ります。

動して涙が出た」「すばらしかった」「上級生が下級生に思いやりをもって接している姿にあたたかさを感じた」「成長を感じることができた」等子どもも教職員も元気が出る感想をたくさんいただきました。これからは総小っ子の健やかな成長を目指して教職員一同、教育活動に取り組んで参ります。



6 月の生活目標は「思いやり」

相手の気持ちを考えて行動していますか。

○相手に必要だと感じたことを言葉や行動に表します

○互いに助け合って生活します

総社小学校をいじめのない笑顔いっぱいの学校にするために大切なことは、751人ひとりひとりが「思いやり」をもって行動することです。

それは、総社小学校の子どもが目指す「やさしい子」の姿です。思いやりとは、自分がいやだと思ふことを人にしないこと。相手の気持ちになって考えたり感じたりし、それを言葉や行動に表すことです。

人を傷つけることは、自分も傷つけることなのです。自分が言った言葉を一番よく聞いているのは、自分です。相手を傷つける言葉を言うたびに相手に届く何倍もの響きや音量で自分に届き、自分自身が汚れ、心が傷だらけになっていくのです。優しい言葉を言うたびに相手に届く何倍もの響きや音量で自分に届き、心があたたかくなり優しくなれるのです。言葉は使い方次第で、「花束」にもなれば「ナイフ」にもなるのです。

今月は、意識して思いやりの言葉と行動があふれる総社小学校にしましょう。児童朝礼では、「一秒の言葉」という詩の朗読とともに、こんな話をしました。

総小いじめについて考える週間

6/8(月)～6/19(金)

『いじめ0 みんな笑顔の 総小っこ』



本校では、6月8日からの2週間で「総小いじめについて考える週間」とし、学校におけるいじめの未然防止といじめを許さない意識や態度を児童にはぐくむために様々な取り組みを行っています。その一例を紹介します。



←各学級で考えた目あて

今週は、各学級で考えた目あてにそれぞれの学級が取り組みます。

3 B『自分がされていやなことしない、いわない、考える』5 C『気持ちのよいあいさつとあたたかい言葉を大切にしよう』6 B『やさしい言葉をかけ合って、

クラスの仲を良くしよう。困っている人を見すごさない。「ありがとう」の言葉を増やす。』などみんなが笑顔になるためにとしっかり考えました。

生活委員会の発表→

15日(月)の児童朝礼で、生活委員会の児童が、いじめ防止について呼びかけ、岡山県子どもいじめ防止宣言を読み上げました。

★いじめをなくすために私たちができること

それは「気持ちのよいあいさつやあたたかい言葉を大切にすること」

それは「お互いに認め合い、人と人との絆を深めること」

それは「みんな仲良く、仲間と自分自身を大切にすること」

それは「見て見ぬふりをせず、悪いことは悪いといえること」

それは「いじめを許さない強い意志をもつこと」



←教育相談週間(6月8日～12日)

不登校やいじめ等をなくし、児童が充実した学校生活を送れるようにすることを目的として年2回行っています。子どもが安心して話ができるように担任と1対1で話をする場を設けています。担任との信頼関係を深める場ともなります。

また、月1回の実態把握のための児童アンケートや保護者を対象とした自由個人懇談日も設けていますが、ご心配なことがありましたら、いつでも遠慮なくご連絡ください。